

平成26(2014)年7月20日

# 第 56 号

稲門会 明一 一 夫子次行男子  
 世田谷 吉 俊 浩 邦 信 利 秀 昭 俊  
 田 並 口 島 子 原 内 林 巢  
 横 榎 小 寺 兼 江 大 若 鷲  
 行人集  
 発 行 編 集

事務局  
 神奈川県川崎市中原区新丸子東  
 3-1100-12 M2209  
 TEL/FAX 044-433-9202  
 林 馨 (はやし かのる)



# 世田谷稲門会会報

## 納涼会は夜景を眺めての夕食会

## ハワイアンとフラダンスを楽しもう!

平成26年8月30日(土)

暑い夏まつさかりの東京、三軒茶屋の高層ビル最上階レストラン「スカイキャロット」を借り切って開催されます。東京の1000万ドルの夜景を眺めながら美味しい和食とフリードリンクを楽しみましょう。



今年の納涼会はきぬた会とレディスクラブの共催で実施されます。早大ナレオハワイアンズOBバンドによる素敵なハワイアン生演奏と、早大ハワイ民族舞踊研究会の現役女子大生による情熱的なフラダンス、想像しただけでもドキドキしてきます。

総合司会は露木茂副会長が担当。是非皆様のご参加をお待ちしております。

申し込みは本誌に同封の納涼会募集案内と振込用紙にて。会費は8000円です。



横田 吉明氏(昭38商)  
 世田谷稲門会・新会長に

世田谷稲門会の役員改選があり、岩上健一会長と井澤貞夫幹事長が退任された。新たに横田吉明氏が新会長に、島田實氏が新幹事長に選任された。

世田谷稲門会会長  
 横田 吉明  
 (昭38商)



6月の総会で勇退された岩上会長の後を引き継ぐことになりました。

重責に身の引き締まる思いであります。浅学・非才ではありますが、会員の皆様のご支援・ご協力をいただき世田谷稲門会の更なる発展に力を尽くす所存です。よろしくお願ひ申し上げます。

当会は歴代の会長・役員の方

皆様のご尽力と会員の方々の前向きな活動への取り組みのおかげで都内屈指の稲門会に育ち、他の稲門会からも高い評価をいただいております。

先輩の皆さんが築かれてきた当会を更に充実・発展させるためには現在500名弱の会員を、ブロック会を土台として増強することが最も重要な課題と思っております。ぜひ皆様のご協力をお願いします。スタートして11年のブロック会の活動も年々充実し、多くの会員の皆さんがその地域に即した活動を活発に展開しております。

部会活動はもちろんのこと、スタートしたばかりのレディスクラブも目覚ましい活動を開始し、頼もしい限りです。若手の会員の集まりである青年部会も情報交換も含め着実に歩みを進めております。

会員の皆様が更に楽しめ、喜んで参加いただける会とし、更にこの活動が会の目的でもある、母校の発展への寄与につながり、地域への貢献に発展できればと思っております。

終わりに会員の皆さま・役員の方々の皆さまのご支援を重ねてお願ひ申しあげ、就任のご挨拶と致します。

# 世田谷稲門会第23回定時総会開催

## 人工臓の権威、梅津光生教授が講演

### 早稲田大学 TWINS における先端医療への挑戦

平成26年6月15日(日)、第23回定時総会が西新宿のハイアット・リージェンシー東京にて開催された。

岩上会長から6年間会長職を全うすることができたことへの御礼の挨拶があった。

第一部の総会では、物故者への黙祷、岩上会長による開

会宣言、出席率の報告(出席者・委任状提出者合計274名で正会員数444名の過半数)

言後、上記4名が紹介され、それぞれに拍手が送られた。

ののち、(議案Ⅰ)平成25年度事業活動報告承認の件、同決

守田芳秋様、早稲田大学地域コーディネーター嶋村貴志様の紹介、守田様よりご挨拶が

算報告承認の件、同監査報告、(議案Ⅱ)平成26年度事業活動

あり、6月12日(火)の総長決定選挙で鎌田総長が再選されたことや現在の大学の活動

報告承認の件、同予算案承認の件、(議案Ⅲ)役員改選の件

などの報告をしていただいた。

(岩上会長、井澤幹事長の退任、横田吉明新会長・島田實新幹

事長の選任、新任役員として富塚兆彌新幹事・小口浩一新

幹事が選任された)が審議され、異議なく拍手を以て承認

可決された。

第二部の講演会では、「早稲

田大学 TWINS における先端医療への挑戦」と題して、人工

心臓の権威である早稲田大学理工学術院教授・TWINS セン

ター長・梅津光生先生による講話を頂いた。

その要旨は、(1)バイオエ

ンジニアとして経験の紹介

(2)TWINSの創設と研究教育

(3)早稲田の先進医療への挑戦、といった内容であった。

まずは早大鉄道研究会会長

という梅津先生の別の顔のことから、人工臓器の研究を始

められたきつかけの話が始

まった。土屋喜一教授との出会い、第1次オイルショック

(1973)を経て、土屋教授から「これから必ず工学と医

療を一緒にやる時代が来る」とのコメントをいただいたこ

と。動物実験の経験からの血液循環系の機械式流体循環シ

ミュレーターの開発、初めての国家プロジェクトの始動開

始の体験(国立循環器病研究センター)、大阪大学の真鍋教授との出会い、オーストラリ

アでの人工心臓開発プロジェクトへの参画、そして早稲田

大学に戻り先端生命科学センター設立へと話は続いた。

EWINGの創設では東京女子医大との連携、文科省第1号の

共同大学院となったことなどご説明いただいた。また、2

種類の人造心臓(全置換型人工心臓、補助人工心臓)、EVAHEARTの改良は、ドナーが出ない日本においての人工心臓の重要性、医療費削減効果

など極めて有用であることを具体的な映像やデータを使って判りやすく解説していただ

いた。皆時間を忘れて興味深く拝聴した。

第三部懇親会では、来賓として杉並稲門会会長久保田貞

雄様・同副会長前坂靖弘様、大田稲門会会長元村勝嘉様、

狛江稲門会会長牛尼進様、台東稲門会副会長田中敏雄様、

世田谷三田会会長三宅茂樹様、同事務局長横山誠二様をお迎

えした。横田新会長の新会長として抱負と梅津教授・守田

理事へのお礼を含めての挨拶があった。来賓の嶋村貴志様

と久保田貞雄様からご挨拶をいただいた。小倉康弘氏の音



講演する梅津光生教授



講演会会場

頭で乾杯、和やかな歓談が始まった。合間には國澤俊一幹事(きぬた会代表)、柏良子顧問(LC代表)から8月30日(土)に開催予定の納涼会の紹介があった。(詳細は1面参照)

最後は池田友彦氏のリードにより校歌斉唱、閉会宣言で盛会のうちに締めくくることができた。

(中村京記、榎並 俊一/撮影)



和やかな歓談会場



校歌斉唱



岩上健一前会長挨拶

## 世田谷稲門会・平成25年度決算報告書 及び26年度予算

(単位:円)

項 目		25年度予算	25年度実績	26年度予算	
前期繰越金		①	406,903	406,903	673,236
収 入	年会費(準会員含み)	②	1,427,000	1,366,000	1,373,000
	総会 会費	ア	900,000	759,000	800,000
	新年会 会費	イ	1,000,000	1,239,000	1,100,000
	納涼会 会費	ウ	800,000	392,360	800,000
	諸行事 小計(ア~ウ)	③	2,700,000	2,390,360	2,700,000
	組織強化補助金	エ	505,000	505,000	505,000
	利息収入	オ	120	75	75
	雑収入	カ	0	6,939	0
	その他収入小計(エ~カ)	④	505,120	512,014	505,075
	収入合計②③④		4,632,120	4,268,374	4,578,075
支 出	総会 費用	1	900,000	752,380	800,000
	新年会 費用	2	1,000,000	1,146,525	1,100,000
	新年会景品代	3	100,000	101,975	100,000
	納涼会 費用	4	800,000	400,745	800,000
	諸行事 小計(1~4)	I	2,800,000	2,401,625	2,800,000
	早大サポーターズクラブ寄付金	5	50,000	50,000	50,000
	ブロック・部会支援金	6	70,000	55,000	
	ブロック支援金	7			70,000
	部会活動補助費	8			30,000
	校友会23区活動費	9	130,000	155,713	150,000
	広報活動費	10	600,000	609,060	600,000
	事務運営費	11	40,000		40,000
	会議費	12	300,000	271,450	300,000
	事務用品費	13	100,000	69,313	80,000
	通信費	14	250,000	216,646	230,000
	雑費	15	120,000	73,234	100,000
	積立金繰入額	16	100,000	100,000	100,000
	17				
諸経費 小計(5~17)	II	1,760,000	1,600,416	1,750,000	
支出合計 I + II		4,560,000	4,002,041	4,550,000	
次期繰越金		479,023	673,236	701,311	
積立金(記念事業等)		100,000	100,000	200,000	

25年度次期繰越金+積立金(773,236円)内訳

現金79,811 銀行預金579,699 ゆうちょ預金113,726

## 平成26年度役員新体制

H26.6.15

役 職	氏 名	卒年・学部	担当など
常任幹事・会長	横田 吉明	昭38・商	
常任幹事・幹事長	島田 實	昭40・法	
常任幹事・事務局長	林 馨	昭45・理工	
常任幹事・副会長	鈴木 宏治	昭38・商	ブロック統括
常任幹事・副会長	露木 茂	昭38・政経	イベント企画統括、レディースクラブ統括
常任幹事	熊谷 慶紀	昭38・政経	部会統括
常任幹事	国澤 俊一	昭43・理工	23区支部担当、組織拡充統括
幹事	河野 美和子	昭35・教育	レディースクラブ担当
幹事	富塚 兆彌 (新任)	昭41・政経	ブロック担当
幹事	桃井 清治	昭44・政経	事務局・会計担当
幹事	井上 文	昭45・理工	ブロック担当、組織拡充担当
幹事	小口 浩一 (新任)	昭45・法	部会担当、広報HP担当
幹事・副幹事長	榎並 俊一	昭46・理工	広報HP統括
幹事	薄井 好雄	昭47・商	事務局担当
幹事	戸田 昇	昭47・政経	事務局担当、23区支部担当補佐
幹事	篠崎 章子	昭52・政経	事務局担当、レディースクラブ担当
幹事	中村 京	昭58・法	事務局担当
幹事	中島 史郎	昭59・法	青年部担当
監事	寺島 邦夫	昭38・政経	青年部統括、広報HP担当、イベント企画担当
監事	山田 昭	昭50・政経	
顧問	土倉 享一	昭34・政経	
顧問	柏 良子	昭31・政経	
顧問	麻生 卓司	昭34・政経	
顧問	岩上 健一 (新任)	昭36・法	

幹事長就任挨拶

島田 實  
(昭40法)

今回の役員改選で、図らずも幹事長を拝命致しました。今後は、会員の皆さんのお力をお借りし、より一層楽しく有意義な世田谷稲門会作りをテーマに、微力を尽くして参りたく考えております。皆様の力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 新役員紹介

この度の総会で次の2名が新役員として承認されました。

富塚 兆彌 氏 (昭41政経)



小口 浩一 氏 (昭45法)



## ブロック会だより

## 西北

## ①「第31回西北会例会開催」

平成26年3月21日(金・祝)に第31回西北会例会を開催。第一部はPM2時より代々木上原の「古賀政男音楽博物館」にて“永遠の古賀メロディコンサート”を鑑賞。前半は昭和初期の名曲をコーラスグループ・フォレストにより古賀メロディを熱唱。声量豊か、きれいなテノール、力強いバリトンで見事なフォレスト流古賀メロディを披露。後半はカンツォーネなどを歌い上げた。一度でファンになったような感激を覚えた。



二部は参宮橋の新日鐵代々木倶楽部に移り、古賀メロディの余韻を残しながらPM5時に懇親会に突入。岩上健一会長の挨拶、前原祖彦さんの乾杯の音頭で一気に宴会モード。趣味の会の話題などで懇親交流の輪が広がった。時間も迫り柏良子代表の中締めの挨拶で再会を約して解散。参加者は31名。

## ②「西北会春季懇親ゴルフコンペ実施」

平成26年4月30日(水)日高CCにて西北会ゴルフ愛好者によるコンペを実施。

他ブロックより4名の強豪を招いて4組14名で熱戦を展開。当日の天気予報は芳しくなかったが、曇り時々小雨でプレーには影響なく全員無事ホールアウト。せり出した枝、難しいバンカー、グリーンには皆さん手こずった様子。新ペリア方式で運不運もあり、結果、優勝は桃井清治、ベスグロは同スコアで宮坂尚利氏と青木誠司氏が獲得。その後19番ホールを下北沢の“北海道”に移して“反省会”を実施した。



(桃井 清治 / 記)

## 玉川

5月18日(日)正午より春のグルメ会を開催しました。今回の店は二子玉川のフレンチレストラン「みや乃」です。本部から鈴木副会長と寺島監事にも出席していただき、玉川会は25名(内夫人5名)でした。司会は今回初登場の太田が担当。冒頭に代表世話人の井澤さんの挨拶があり、乾杯の発声は若手会員の小口さんをお願いし、その後料理と飲み物をいただきながらの歓談に入りました。



歓談が進む中、林さんから本部報告、河津さんから奥沢駅前音楽祭の案内、太田から玉川会の行事案内がありました。今回のスピーチは出席者が比較的少なかったため全員の方をお願いしましたが、近況報告等夫々に興味深く面白い話が出て、大変有意義で楽しい時間でした。料理の美味しさは格別で、出席の方々は口を揃えて美味しいと言っていました。スピーチが終わりデザートが出る前に恒例の席替えを行い、更に盛り上がり交流を深めることが出来ました。締めめの挨拶は今回斬新な試みとして、出席者の中で一番若い大山さん(昭和59年卒業)をお願いしましたが、ユーモア溢れるお話で締めていただき、2時50分にお開きとなりました。

(太田 隆 / 記)

## 千歳

平成26年第1回目の企画として、烏山寺町散策会と懇親会を4月19日(土)に開催しました。

午後3時に烏山区民センターに集合、15名にて小京都と呼ばれる烏山寺町を散策しました。八重桜が満開の中、鐘楼の残る幸龍寺、喜多川歌麿の墓のある専光寺、川島正次郎・大原麗子さんの眠る妙壽寺、鴨の飛来する弁天池のある高源院などを約2時間かけて巡りました。

引き続き、午後5時からイタリアンレストラン「アルターナ」(京王線・千歳烏山)にて、前原元幹事長、江原さくら会代表世話人にもご出席いただき、総勢24名にて懇親会を開催いたしました。鈴木代表世話人の司会により開会、前原氏と江原氏のご挨拶、初参加者3名の紹介・挨拶の後、会員の安井規雄氏(弁護士)から「最近の裁判事例から一袴田事件から学ぶこと」と題した講演をいただきました。土倉氏の乾杯の発声により懇親会が始まりました。

和やかな歓談の中、稲門祭記念品の販売も行われ、盛況のうちに校歌斉唱にてお開きとなりました。

(戸田 昇/記)

## さくら

さくら会は、その名にふさわしく、呑川緑道沿いの見事な桜並木と、桜新町サザエさん通りを中心としたさくら祭りを身近に楽しみながら、さくら会懇親会もすでに36回を数えるまでになっています。次回の開催は10月12日(日)に前回と同様の三軒茶屋銀座アスターで中華料理を楽しみながら親交を深めることを決めています。尚、さくら会としては10月の懇親会までは世田谷稲門会主催の6月の定時総会及び8月の納涼会、趣味の部会への積極的な参加をするようにとの理解と協力をお願いしています。

(江原 利次/記)

## キャロット

平成26年5月17日(土)上野広小路の鈴木演芸場の昼の部の寄席総見、又、5月31日(土)午後4時から芳町の見番で「芳町芸者衆とミニお座敷体験」を実施しました。写真の左から4番目は「とらとらとら」を楽しむ西喜永治さん。



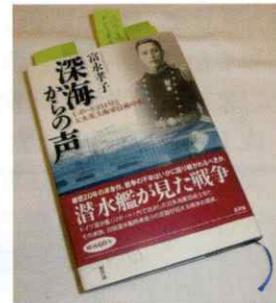
来る7月2日(水)午後7時から赤坂の「バルバラ」で花田玲子さんのピアノ弾き語りソロライブがあります。シャンソンだけでなく日本の懐かしい歌も披露してくれます。他のブロックの方の参加も歓迎します。18名以上の申し込みがあれば貸切となります。参加の申し込みは直接花田さん(電話:3419-8228、ファックス:3419-9488)をお願いします。

前回、会報第55号と一緒に送付した案内に忘年会の日を11月30日(土)と記載しましたが、間違いで、11月29日(土)午後5時から三軒茶屋のキャロットタワー26階のレストラン「スカイキャロット」で開催します。

(富塚 兆彌/記)

## きぬた

平成26年度第一回の行事を4月26日(土)に、講演と懇親の夕べとしてNHK青山荘にて開催いたしました。当日は本部から岩上会長、林事務局長始め総勢25名の方々に参加いただき盛会となりました。



講演は当会会員富永孝子氏(昭30文)にお願いし「米に降伏か、独に戻るか、日本へ向かうか…日独潜水艦交流 U-234 秘話」と題し、氏の執筆された本を基に、独潜水艦 U-234 投降までの息詰まる1週間をドキュメンタリータッチでお話しいただきました。更に、この本を執筆された動機や取材に纏わる数々のエピソードを交えた興味深い話に一同ハラハラ、ドキドキ時を忘れる思いでした。

懇親の宴に移ってからも話題は尽きず、大変楽しいひとときを過ごしました。今後の予定ですが、8月30日開催の納涼会の幹事を当会とレディースクラブの皆様と合同で担当させていただくことになりました。皆様のご参加を楽しみにお待ちしております。

(畔上 孝夫/記)

## けやき

4月19日(土)の昼、平成26年度けやき会総会と第1回の懇親会が開催されました。当日の会場は千歳船橋駅から徒歩5分、閑静な住宅地にある欧風レストラン「オー・ランデブー」。たびたびご厄介になる会場だが2階に程よい広さの会議場が併設されていて恰好なレストランだ。当日の参加者は総勢20名。

総会では、小倉代表世話人のご挨拶に続いて昨年度の活動報告と今年度の計画が説明された後、恒例の講話では世話人の工藤隆司さん(44年政経)が豊富な海外生活での興味深いご経験を披露された。場所を階下に移しての懇親会には横田副会長も参加され、いつになく飲み放題のレストランの計らいもあり和気藹々愉快的な一日でした。



(二宮 忠利/記)

## 部会だより

### 青年

青年部は、現役で仕事をしている若い世代の会員相互の親睦・交流を主眼とする部会で、早稲田という共通点でつながる様々な異業種のメンバーが年3、4回程度集まり会食し、楽しく交流しています。実際には年齢は関係なく、現役で仕事をされている「青年の心を持つ方」であれば、ご参加頂いています。ご興味のある方は是非ご参加下さい。今回は、渋谷のスペイン料理「カトルセ」にて14名の参加者を得て、南欧の方々にも負けない盛り上がりで例会を行いました。次回の例会は、丁度この会報が発行される頃ですが、7月18日(金)に、会員の方からご紹介頂いた外苑前の「オープンキッチン104」というお店で開催する予定です。気軽な雰囲気の中で、美味しいお料理とお酒を味わう、いつもながらの賑やかな例会になるのではと思っています。

(中島 史郎/記)

### レディースクラブ

レディースクラブはきぬた会と共催で納涼会を開催します。フラを見ているだけじゃつまらない、私も踊ってみたいと思っている方も多いはず。そこで、今回はフラの講習タイムを設けます。表現豊かな手の動きや身振りを学んで楽しく踊ってみましょう。じゃんけんで決めるプレゼントタイムもあります。なにが当たるかは乞うご期待。じゃんけんに自信のある方はふるってご参加ください。

現在、事務局では、広く会員の皆様に景品のご寄付をお願いしております。どうぞご協力くださいますようお願いいたします。



(篠崎 章子/記)

### 食べ歩き

5月23日(金)、例会は晴天に恵まれ、多くの若者らが行き交う、神楽坂のとば口にある「ラリアンス」で、和やかに開かれた。参加者は40名。

まず、柏良子氏の開会の辞につづき、先月、逝去された上保幸夫氏へ黙祷を捧げ、昼食会が始まった。平成11年に発足した食べ歩き会は、今回で、なんと、60回目を迎えた。そこで、第1回目から参加されている、大先輩の武藤哲氏に乾杯のご発声をいただき、ともに、今後の会の発展を願いつつ、次々に供されるフランス料理を味わった。

メインディッシュは無論のこと、それに添えられた数々のソースや、スープには豊富な野菜が使われているのも嬉しく、タイミングよくサービスされる、口直しや豊富なデザートまで、かなりのボリュームであったと思われるが、多くの方々のお皿は空っぽ。同窓生としての円卓の会話がまた大きな調味料となって、雰囲気をさらに盛り立てた。

加藤隆夫氏のご説明によれば、「(ラ)アリアンス」(仏)とは結婚、結びつきの意で、この会場は結婚式に使用されることが多いそうで、心なし、料理にも若々しい感覚があったように思う。

岸田正和氏のご挨拶と、締め言葉は麻生卓司氏からいただき、会は無事終了した。次回は9月27日、和食の予定です。

(兼子 信子/記)

### 俳句

毎月開催される句会は、早稲田大学で現代俳句講座を担当されている日下野由季先生から前以て出題された兼題（4月は春惜しむ、5月は新茶）と季節に相応しい俳句3句を持ち寄って開催されます。当日は誰の俳句か判らないようにして好きな句を選び得点を競い合い、最後に由季先生から夫々の俳句の講評と俳句作りの心掛け等の指導をして頂いています。毎月の句集をホームページに掲載していますのでご覧ください。



春の夢ポッティチェリの絵に迷い込み	勝	木の芽吹く槌音高き震災地	好孝
惜春や沖ゆく船に灯の入れば	まもる	海南風土佐闘犬の面構え	上馬の
引越しのひと息入れる新茶かな	宣子	白磁器に山河の色の新茶かな	兆弥
つばくろやニコライ堂の碧き屋根	みづほ	春燈や少し残りし赤ワイン	晃子
大道芸炎暑の街に火を吐いて	喬風	髪切りて耳元涼し夏つばめ	広
村ごとに新茶の幟バスの旅	雪子	炎天や傾いだ山車に顔顔顔	恵那
枇杷の葉も添えたと母の便りかな	利水	友よりの新茶届きて恙なし	あき

(江原 利次 / 記)

### ゴルフ

A) 平成 26 年度最初の「第 78 回世田谷稲門会ゴルフコンペ」は 3 月 27 日(木)に 39 名の参加を得て、中津川 CC にて開催。当日は朝から曇天、途中から冷たい小雨が降りしきる中、熱戦が繰り広げられました。優勝は総合・網野久男さん、グランドシニア・井澤貞夫さん、シニア・星野裕さん、レディース・森春野さんでした。



左から 桜井さん、吉村さん、松浦さん

B) 第 9 回世田谷稲門会・三田会懇親ゴルフは 5 月 20 日(火)相模 CC にて三田会主催で開催。参加者は稲門会が 14 名、三田会が 9 名、計 23 名で和気藹々の内にプレーをしました。

天気は晴れ、名門ゴルフ場でのプレーは快適で参加者は満足の様子でした。優勝は三田会の秋山俊洋さん、準優勝は稲門会の三ツ谷襄一さん、3 位は同じく青木誠司さんでした。上位 5 人のスコアで競う団体戦は稲門会の 7 連覇となりました。

C) 「第 79 回世田谷稲門会ゴルフコンペ」は 6 月 3 日(火)34 名の参加を得てレイク相模 CC にて開催。当日は曇天ながらも蒸暑い陽気の中熱戦が展開されました。総合優勝は 6 アンダーを出した吉村豪介さん、グランドシニア優勝は櫻井昭一さん、シニア優勝は松浦晋三郎さんでした。

レディースは残念ながらお一人だけの参加でしたので競技不成立でした。

今後の予定：

- 第 80 回世田谷稲門会 10 月 8 日(水) 富士国際 GC (記念大会)
- 早稲田大学校友会 11 月 12 日(水) 久邇 CC
- 第 81 回世田谷稲門会 12 月 3 日(水) 桜ヶ丘 CC

(工藤 隆司 / 記)

### 芸術芸能鑑賞

5 月 16 日に「文楽」を 7 名参加で開催。人間国宝・竹本住大夫さんの引退興業で満員の盛況であった。

5 月 28 日には人気の「三越落語会」を 17 名参加で楽しんだ。市馬や喬太郎の実力者がそろい、申し込みの遅い方には一部辞退をお願いした。

更に 6 月 22 日には「歌舞伎鑑賞教室」を案内し 27 名の多数の参加予定。橋之助、扇雀の名コンビで贈る名作を楽しむ。あわせて歌舞伎の基本知識の学習も兼ねる。



7 月には 7 月 5 日(納涼)と 7 月 11 日に三越落語会を多数参加で楽しむ予定。9 月には鑑賞部会の「総会」を予定している。

(鈴木 宏治 / 記)

## 釣り

2月23日、東京湾口剣崎沖真鯛乗込み釣りに利一丸より7名参加。真鯛は1名1匹のみであったが、後半、美味の鰻、鯖を一人15～18匹の土産を釣る。

3月1日、溪流釣り解禁は、狩野川支流地藏堂川にて40cm岩魚を頭に5匹。以後5月末まで6回の釣行で虹鱒45cmを含め毎回好漁、柴田単独釣行。

4月6日、真鯛乗込み、霞ヶ浦高浜のホソへ6名参加。33cmを始め大型が良く出た。

5月18日、上野原の鶴川ヘヤマベ釣り4名参加。今年はまだ時期早く不漁であったが、景色は最高によく釣り師が多い。6～8月が良いとベテラン釣り師の言。

5月24日、川崎つり幸よりキス沖釣り。釣り場が深場の中の瀬から浅瀬の千葉に移ったせいか小型が多く、また数も出なかった。置竿に40cmのまごちが1匹出た。

今後、夏に向かいキスの盛期になる。陸釣りも6月より手長エビ、7月よりハゼ釣りが始まる。

初心者歓迎しますので、遠慮なく参加されたい。

(柴田 昇/記)



## カラオケ

■<月例会>毎月第一土曜日午後1時～5時 BIGECHO 下北沢駅前店

参加費 2000円 飲物2回ピザキャンディ付

第83回 2月1日; 20年に一度の大雪。15名(4室)

第84回 3月1日; 桜の開花も近く。12名(3室)

■ 第85回 4月5日; <総会>21名(5室) 運営・役員・監査承認。

さらに都の西北のルーツ? 「OldYale」の資料とMIDI音源が披露。

(抜粋→) 校歌は1907年創立25年記念に坪内逍遙が発案。大学

が集めた英米の校歌を参考に作曲: 東儀鉄笛、作詞: 相馬御風

の共同作業でできた。歌詞の2番には大隈重信「東西文明の調和」から建学の精神を入れた。ところが1962年2月朝日新聞に早大校歌は「OldYale」の焼き直しと指摘する音楽家の投稿があった。そこで大学と校友で「校歌研究会」を結成。早混OBが大英図書館で「OldYale」の譜面をコピー。再現したところそのメロディは1800年代の英国歌曲を源流としたところもあるが、大部分は東儀の創作と判明した。このように明治期は英米の楽曲に日本語の歌詞をつけた文部省唱歌を全国の小学校にオルガンを入れて歌わせた時代であった。もし外国で日本の歌を唄えと言われたら「都の西北」を誇りをもって唄いましょう。そのメロディの源流からしても間違いなく称賛されるでしょう。

(倉田 豊/記)



## 写真

写真部会の例会は「プリント重視」で行っています。デジタルカメラの高解像度(1200万画素以上)と色彩の表現(奥行感と色域の広さ)を表すのは、インクジェットプリンターしかありません。テレビ、モニターは現在では300万画素以下で綺麗ですが、表現が出来ません。一方プリント方法は画像ソフトのレベルアップで簡単に調整出来ます。但しきちんとしたカラーシステムを整える必要があります。A4サイズ以上にプリントをする事、それを皆さんに見せ、評価され、同時に他の方の作品を沢山鑑賞する事が、写真の上達になります。写真はプリント用紙の多様化(マット紙、画材紙、和紙、キャンバス等)で絵画と同じ様な表現が出来る様になりました。簡単に会得出来ますので、ご来場下さい。

(1) 例会実績報告

例会: 10時～13時30分 東京農大校友会館 教室 (通常は第3木曜日)

2014年3月19日、4月17日、5月15日、6月19日。

(2) 今後の予定

2014年7月17日、8月は休会、9月18日、10月16日、11月20日

(種谷 鴻成/記)

## スポーツ観戦

5月31日(土)、真夏を思わせるような暑さの中、春季六大学野球の最後を締めくくる伝統の早慶戦を観戦。優勝のかかった試合とあって3万3千人を超すファンが神宮の森につめかけた。当稲門会からも部会員及び同知人29名が熱心に応援に参加した。

試合は六大学 No.1 の早大有原と生きの良い慶大加藤、両投手の投げ合いで試合が進み、5回早大は投手の暴投で1点を先取したが、7回慶大打者の2点ホームランが飛び出し、早大の反撃も及ばず2:1で惜敗し優勝ものがした。両校プレイヤーの健闘を改めて讃えるとともに、最後まで熱心に応援された当稲門会の皆さんに心から御礼申し上げたい。試合後、恒例により「ますだや(蕎麦屋)」に15名の方々が集まり残念会を行うとともに秋のシーズンには祝勝会になることを誓い観戦会を無事終了した。

観戦会に参加された部会員及び同知人の方々、暑さの中最後まで熱心に応援され、本当にありがとうございました。

(川村 保夫/記、岩上 健一/撮影)



## ウォーキング

世田谷稲門会のウォーキング部会は5月18日に15人が参加し、多摩丘陵で月例ウォーキングを楽しみました。午後1時過ぎ多摩小田急の中央センター駅を出発、駅近くの縄文遺跡を先ず見学。ウォークはからだ慣らしからという訳で、なだらかな丘陵の芝生のなかを10分ほど歩いて小高い丸山の“展望台”からスタート。

街をつなぐ2つの橋や富士見坂、静かな住宅街などを通して最終目的地の「よこやまの道」へ到着。縄文村を出発してほぼ1時間の「よこやま道」は歩いて10分ほどの古道だが、アップダウンが激しく道幅も狭く確かな古道でした。しかし万葉集にも出てくる歴史的に貴重な場所の1つでした。「先人らが歩いた道を目の当たりにして新たな思いをかみしめることが出来た」と、多くの参加者が思ったのではないのでしょうか。

(齊藤 治雄/記)



## 麻雀

3月15日(土)、春まだ寒い3月中旬、25名の善男善女が祖師ヶ谷大蔵駅徒歩3分の麻雀荘「天狗」(以下会場は同一)に集い、口と技を縦横に駆使し一時の勝負を楽しんだ。試合はスタート時点から実力全開の長谷川氏がジリジリ追い続ける河村卓郎氏を躰し、三桁得点で優勝した。優勝 長谷川義樹、準優勝 河村卓郎、3位 郡山弘文、4位 武田一成、5位 小倉康弘、6位 高橋義幸

4月6日(日)、晩春の一日28名の紳士淑女が集まり、賜杯を目指した。前半スローペースの清水氏が大勝に気の緩んだ阿部氏を猛追し、僅差で逆転優勝した。優勝 清水胤弐、準優勝 阿部信之、3位 吉村善智、4位 飯田保則、5位 田島功統、6位 中村晃二

5月10日(土)、穏やかな晩春の正午、21名の麻雀愛好家が集い、恒例の麻雀大会を楽しんだ。実力がありながら優勝されなかった飯田氏が毎回トップという完全試合で追い上げる河内氏をくだし、三桁得点で優勝した。優勝 飯田保則、準優勝 河内文夫、3位 林馨、4位 高橋毅、5位 河村暉子、6位 有利純太郎

(下谷内 堯/記)

## 将棋囲碁

平成26年6月8日(日)に市谷の日本棋院にて毎年恒例のオール早稲田囲碁祭が開催され、世田谷稲門会からは6名が参加いたしました。

今回の成績は今ひとつでしたが、昨年末一緒に懇親会をした大田稲門会との合同反省会では、ともに一年後の活躍を誓いおおいに盛り上がりました。

新会員はいつでも大歓迎いたします。お気軽にご連絡ください。

(池松 正之/記)

# 会員の広場

## 身近な防災について考える

井上 文(昭45理工)



等の状況をみても、発災後の公的な支援はまず期待できないことがはつきりしてきました。同じ規模で震災が起これば東京はもつと大変な事態になり、現在は1週間、あるいは10日間の備蓄が必要とまでいわれています。そうなれば自助、共助、公助だけでなく、自助と共助のあいだに近助という形も必要との認識です。

区内で設計事務所を主宰するかたわら、せたがやオルタナティブハウジングサポート(略称SAHS=サーズ)という特定非営利活動法人(NPO)を2000年から継続しています。主たる活動はまちづくりの分野ですが、今年度から500近くもある区内のNPOが発生が危ぶまれている直下型大震災に向けて、今からできることを準備していこうと連携を取り始めました。500といってもすべてのNPOが関わられるはずもないのですが、地震が起きた直後はまずは自分自身や家族、友人の身の安全が第一、しばらくして身の置き所も決まった時点で連絡を取り合い、それぞれのNPOのスキルを生かして被害者から支援者へ回ろうという意気込みです。

阪神大震災、東日本大震災

世田谷区は一部の木造密集地域を除けば比較的安全といわれていますが、それでも震度6程度の揺れが起これば、建物も無傷というわけにはいきません。区が用意している避難所は93箇所、一方区の人口はこの3、4年で急増して88万まで達する勢いです。平均すると1箇所1万人弱ですから全員が絶対に入れるはずがなく、自宅が安全なら戻っていたたく、という方針のようです。つまり避難しない選択も大いにあり、かえってそのほうが楽、となるように食糧や燃料の備蓄、家屋の耐震化、家具の転倒防止など平時からの備えに気を配られてはいかがでしょうか。この世田谷区内NPOの防災のネットワークは今年度、各総合支所のある地域ごとに防災

に關してのワークショップを開いていく予定にしています。

## 私の半生で学んだ事

前原 祖彦(昭25理工)



私は山口県出身ですが、父の職業上から東京に移り住み、小学・中学・大学と東京で学びました。昭和13年府立六中入学頃から支那事変・そして大東亜戦争へと移り、高等学院2年夏に終戦になるまで教育・体育・軍事教練など戦時色の期間でした。それゆえ全て枠にはめ込まれた自由と笑いを失った時代でした。

そして私は昭和21年学期末に発疹チフスにかかり、脳症・急性肺炎を起し東京女子医専に入院し、約半月全く意識が無く地獄をさまよっていました。時も終戦直後で医薬や食料さえ乏しい最悪の時期でしたが、父が付ききりで看病してくれ、さらに内科の三神部長・担当女医の献身的な処置に併せて、米軍が私を伝染病院に移せとの指示に対し黙認してくれた事が幸いし1か月

半ぶりに退院しました。

昭和25年に卒業し日産自動車関連会社に就職しました。ところが日産は当時から組合運動が盛んで、役員・幹部の人事まで介入するようになり、このままでは将来不安に思いました。そこで私は上司に色々訴えてきましたところ、暫らくして埼玉の会社に出向の命を受けました。たまたまその頃、以前から親しかったトヨタの社員から誘いがあり、チャンスと思いい反骨精神で決断し退社を申し入れたら、会社も驚き様々な慰留工作をしてきました。結果的にはトヨタに移り業務に打ち込むことができました。

昭和39年に胆嚢摘出手術を中学同級生により慶応病院で行い、そして昭和54年に甲状腺腫瘍の手術を表参道の伊藤病院で行いました。平成7年に右目加齢黄斑変性症が発症しましたが治療法がないようです。15年前に前立腺ガンが見つかり、注射と服薬で安定させました。近くは平成24年に頭部慢性硬膜下血腫の手術をしました。

心掛けていますのは自然治癒力と免疫力を強めることです。人間の運命と寿命は誰にも分からない。人との出会い縁を大切に未見の自分を信じましょう。

世田谷稲門会ホームページのURLが変わりました!!!

以前のホームページURLは見る事が出来ません。

下記URLでご覧いただき、「お気に入り」にご登録いただくと便利です。

<http://setagayatou.mond.jp/>

(広報委員会)

記者の目  
部会裏探訪

現在、世田谷稲門会で活動中の趣味仲間や同好の士が集う部会数は、合計11部会。この中には、総勢70名から90名近い大所帯な部会も幾つか含まれる。

ところが一方では、時代の流れや環境に沿えず、あるいは創部時からの世話人の高齢化や退任などで後継者が得られず、止む無く姿を消した残念な例もある。バブル期までは盛況を極めていたテニス部会。その後産声を上げて間もなく消えて行ったダンス部会。更には隣接する渋谷稲門会との合同部会として状況を呈したボーリング部会の休部。そして今年まで活動を続け、世田谷稲門会のホームページの基礎を築いてくれたパソコン部会の突然の廃部、等々がその例である。

もちろん、休部や廃部に至る直接的な要因は種々あるようだが、共通するのは後継者不足であり、職場を離れての趣味や同好者の部会となると、後継者不足は止むを得ないことなのであろうか。

こんな観点から、今回は

「楽しく居心地の良い世田谷稲門会」作りの主役である部会を支える世話人の「舞台裏」ならぬ「部会裏」のご苦労を覗いてみた。

まず、記者の質問に「元気で人気のある部会には、必ず有能な世話人が2〜3人はいますよ。遊びだからと云う甘えや安易な考え方は、うまくいきませんね。逆に遊びだからこそ配慮と柔軟な対応が求められます」と話してくれたのは、部会の中で特に人氣が高いゴルフ部会の世話人OB。そして「世話人の面倒見が良く楽しければ、嫌でも部員は集まります。だから部会運営は、世話人次第だね…」とも付け加えてくれた。

まさに正論で、なるほどと思われるが、いざ取材してみると、世話人の負担は思いの外重い。特に例会毎に場所や内容が変更になる部会では、「早目に入場券を手配して参加者を募集し、直前に電話などで確認して万全を期しても、観劇会や音楽会では突然のキャンセルが出来ますね。止むを得ない事情でも、代金を立て替えて手配する側は慌てます。直前では代替が効きませんから…」とは、芸術芸能鑑賞部会世話人の打ち明け

話。また、ウォーキング部会は、「実際の順路を辿る事前チェックを、複数の世話人の持回りで実行している」と云う。「事前チェックをする」と

とで当日の参加者に、安心して楽しんでもらいたい。万が一にも道に迷ったり交通渋滞等でご迷惑を掛けたくないと言うのが私たちの本音です。ただ、天気ばかりはどうにもなりません(笑)」と参加者への配慮が覗く。一方、食べ歩き部会では「味とお店の雰囲気や命。毎回準備のために世話人3〜4人で事前の味見や席の確保に出向きます。皆さんに喜んで頂ける店ではないと長くは続きませんから…」と、どの世話人にも「参加者第一」の気配りが嬉しい。

別れ際に、世話人の一人が「たっくさんの人に参加頂き、楽しかった、又來ます」の言葉を頂くと、それまでの苦労や嫌なことも完全に忘れちゃいますよね」と結んでくれた。皆さん！これからは部会に進んで参加しよう。そしてボランティアでご苦労頂く世話人に、心から感謝を伝えよう。これこそが、部会を元気にし、部会を末永く存続させる切り札では…とさえ思えてきた。

(稲男/記)

＝母校の今＝(第27回)

新劇場施設「早稲田小劇場どらま館」

2015年4月にオープン!

早稲田大学は、演劇の小劇場運動の第一世代と言われる劇団「早稲田小劇場」発祥の地であり、早稲田の多くの学生たちが演劇に励んでいた劇場「早稲田文化プラザ どらま館」(2012年閉館)の跡地(新宿区戸塚1丁目)に、学生演劇サークルなどが使用する新たな演劇施設「早稲田小劇場どらま館」を2015年4月に開設すると発表した。



完成予想図

開設のきっかけになったのは、早稲田大学創立150周年を見据えた中長期計画「Waseda Vision 150」への学生による提言「Waseda Vision 150 Student Competition」の第一回大会が2013年3月に行われたが、その決勝大会に勝ち残った「チーム・シアター早稲田」から出された、「どらま館に変わる新しい劇場の建設を!」とい

う提言だという。さらに、演劇を志す学生から開設を望む声も多く、こうした声に大学が応えた形である。

また、開設にあたり、「早稲田小劇場」の生みの親で、現在世界的に活躍している演出家・鈴木忠志さん(1966年 政経卒)から、「早稲田小劇場」という名称を使用することに対する快諾も得ているという。

何れにせよ、新「早稲田小劇場どらま館」が、『早稲田演劇の灯』をさらに発展させ、「演劇の早稲田」の一層の盛り上げと、さらには、日本の小劇場運動の一大拠点になることが期待されている。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

《早稲田小劇場どらま館》の概要

- ◎ 所在地：東京都新宿区戸塚1-101
- ◎ 建物：鉄骨3階建て、延べ床面積は約210㎡、観客席は約70席(2階)
- ◎ その他：事務所、売店、エレベータ、トイレ、バリアフリー
- ◎ 使用資格：学生演劇サークルなど

※学生演劇サークル以外については、学外者の使用も含めて検討中

(大内 秀行/記)

世田谷稲門会 会員異動状況 平成26年5月31日現在

〔新入正会員〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	FAX
田島 櫻子	平9	文	個人情報につき不掲載			
望月 達	昭40	商				
小澤 八州	昭40	理工				
小松 大祐	平24	院公共 経済研				

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	理由	備考
清水 晴夫	昭36	政経		
野田 智也	昭52	政経		
小御門 俊郎	昭52	文		
本田良幸	昭58	理工		
大胡 誠	平8	法		
高津 眞	昭54	理工		
天野 泰久	昭43	政経		
上保 幸夫	昭29	教育		
山田 正周	昭36	商		
永井 憲一	昭28	法		
地引 功一	昭43	政経		
青笹 吉郎	昭44	理工		
茂木 浜二	昭42	政経		
細谷 正勝	昭43	教育		
下田 達郎	昭39	政経		

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所等	電話	備考
小口 浩一	昭45	法				
若下 秀雄	昭45	商				

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所			
			メールアドレス	電話	FAX	その他
上野 俊夫	昭40	商				
渡邊 義治	昭33	理工				
塚脇 一帆	昭47	商				
郡山 弘文	昭27	商				
阿野 真規子	昭45	文				
中山 久徳	昭63	商				
星野 聡史	昭26	理工				

事務局からのお願い:

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話&ファックス 03-3305-4650 e-mail;shinoshoko@gmail.com

編集後記

世田谷稲門会の幹事を仰せつかって丸2年になりました。この間、慣れない広報HP担当幹事を精一杯やってきましたつもりです。広報の仕事は大きく分けて会報とホームページ(HP)です。会報については年3回のカラー版10、12ページを継続発行できているのは、島田広報統括と6名の編集委員の皆さんの働きによるものと思っています。引き続き協力体制を持続してより良い会報を作りたいと思います。また、ホームページについては、3月のパソコン部の廃部という突発事態により、プロバイダを変更せざるを得なくなり、前HP担当の若林氏に多大なるご協力を得て、より容量が大きくて使用料が安いプロバイダと契約することができ、若干のトラブルはあったが問題なく移行できたものと思っています。内容的にも写真などのビジュアルを重視した楽しいHPを今後も提供していきたいと思っております。会員の皆さんには記事や写真のご提供をよろしくお願いいたします。6月から副幹事長・広報HP統括幹事を拝命し、さらに精進する所存です。

(榎並 俊一/記)